

かなでだより

令和6年
10月15日発行
かなでだより

朝夕の気温に差が出てくるようになってきましたね。風邪が流行っていますので、手洗いうがいをしていきましょう。今回は、前回に引き続き、準備力の「学習編」について例をあげてお伝えいたします。

「学習編：定期テストの準備」について

<準備していた場合>

テスト2週間前、テストの範囲表が配られる。

- ① それぞれの科目の範囲を確認した。
提出物の有無や期限の確認もした。
計画表を作って、毎日確認した。



② 始めの一週間

- 1) 範囲内で終わってないページを終わらせた。
- 2) 終えたワークの基礎問題を解き直した。
教科書の章のまとめの基礎問題も取り組んだ。

③ 残りの一週間

- 1) ワークの応用問題を解き直した。
- 2) 教科書の章のまとめの
応用問題も挑戦してみた。
- 3) 時間を意識して取り組んだ。



<準備していなかった場合>

テスト2週間前、テストの範囲表が配られる。

- ① まだ時間があるから大丈夫。
ワークはやってるはず・・・
だから大丈夫。
なんとなくできるから大丈夫。



② 一週間前・・・

範囲見るか・・・え！
うわ、こんなに範囲広いのか
ワークの提出もあるのか
うわ、やってないページあるじゃん
分かんない問題ばかりだ・・・



うーんとりあえず提出できるように
答えを写しておこう。
なんとかワーク終わった。

<テスト当日>

応用問題で難しい問題もあったけど
基礎問題を繰り返したおかげで、
出来る問題が多かった。



<返却後>

本人の納得する結果であった。

<テスト当日>

とりあえず出来そうな問題の答えは書いた。
時間がかかりすぎて最後まで書けなかった。



<返却後>

結果があまり良くなかった。

上記の二つの結果のように、「いつからいつまでに、何を、どのように」準備するのかによって、結果が変わってしまいました。準備期間が短いと、後から詰め込み、余裕のない状態のままになってしまいがちです。また、段階を踏みながら準備していくことで、今の自分の状態を把握し、微調整することもできますね。また、「心の準備」をすることにも繋がりますので、ぜひ、準備をしていきましょう。今後も準備することの必要性和大切さを伝え、「未来の自分が少しでも困らないように」していけるよう支援していきたいと思います。

